

<論文>倉庫業の保管料の推計：昭和53年分

著者	松本 清
著者別名	Matsumoto Kiyoshi
雑誌名	経営論集
巻	13
ページ	1-31
発行年	1979-12-20
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00005849/

倉庫業の保管料の推計

——昭和53年分——

松 本 清

序

倉庫営業については日本ではその開業に当り運輸大臣の許可を必要としているのであるから（倉庫業法第3条），産業的に重視されているとすべきであるが，下記の正規の業者が1カ年にどれほどの保管料を稼ぎ，荷役（ニヤク）料を得ているのかについては，全く不明ということになっている。行政官庁（運輸省）を初めとし，日本倉庫協会（普通倉庫業），日本水面木材倉庫協会（水面木材倉庫業），日本冷蔵倉庫協会（冷蔵倉庫業）の3団体の何れからもその数字は公表されたことがないし，公表されたことがないこと自体に不審を抱かれてもいない（年度末現在，運輸省港湾局倉庫課調べ）。

区 分	昭 和 51 年	昭 和 52 年	昭 和 53 年
普 通 倉 庫 業	2,374社	2,424社	2,466社
冷 蔵 倉 庫 業	1,286	1,300	1,328
水面木材倉庫業	26	26	26
合 計	3,686	3,750	3,820

貨物動向に関しては前掲の倉庫課から「倉庫統計月報」で公表しているので，日本では倉庫面積と在庫高については明治41年（1908年）1月末現在分から連綿として明らかになっているのに比し，前記のとおり産業的数字の不在を見ることは極めて残念に耐えないところである。

1 推計を行なう理由

筆者は前掲「月報」の貨物動向に基づき，売上高の推計を行なって来たのは，下記を理由とする。

(1) 倉庫業の産業的大きさを明らかにすること。

- (2) 物資流動論 (Physical distribution, Business logistics, Warenverteilung) で多く発表されている保管経費率に実証性を与えること。
- (3) GNP (P. N. B, Produit National Brut) との関連を明らかにすること。
- (4) 自家倉庫 (テグラ, 手蔵/Private warehouses) の運営に対して経費的指針を与えること。
- (5) 日本の普通倉庫業界で行なっている「従価保管料率/Ad-valorem rates と、従量保管料率/Specific rates とによる従価保管料と従量保管料との合算制」を欧米諸国並みに従量保管料のみによる制度に改めるための資料を与えること。

とにかくオーソライズされた数字の公表がないので、ここでは筆者個人の推計となるけれども、業種別に見る保管料推計算出高 (甲地区ベース) は、つぎのとおりである (単位, 億円)。

区 分	昭和51暦年	昭和52暦年	昭和53暦年
普 通 倉 庫 業	3,734	4,066	4,471
冷 蔵 倉 庫 業	880	970	1,180
水面木材倉庫業	24	25	25
合 計	4,634	5,061	5,676

筆者の推計に依る普通倉庫業の保管料算出高の推計高は、下記のとおりになっている。

昭 和 30 年	130億円	昭 和 44 年	1,030億円
35	314	45	1,392
36	377	46	1,706
37	426	47	1,756
38	463	48	2,148
39	544	49	3,196
40	609	50	3,376
41	621	51	3,734
42	718	52	4,066
43	888	53	4,471

上記の金額と GNP / PNB との関連を見ると、つぎのとおりであり、ほぼ固定的な比率になっていることが知りえられる (GNP は名目, 年度, 単位10

億円)。

	昭和 51 年	昭和 52 年	昭和 53 年
G N P (a)	171,735	190,713	209,248
保管料 (b)	3,734	4,066	4,471
比率 (b/a)	0.217%	0.213%	0.213%

2 推計の手法

製造業・販売業ともに売上高は下記の算式で算出されることは周知のとおりである。

製造業は、 単価×生産量＝生産額

販売業は、 単価×販売量＝販売額

そうしてみると、倉庫保管料については、単価は「1期の単位保管料」であるべきであるから、

「1期の単位保管料」×「保管役務生産量」＝保管料

が成立するのであるが、一般には生産量なり販売量なりが固定的数値であるのに反し、普通倉庫業に例を採れば、保管役務生産量は浮動の数値である点に保管料算出に特殊性がある。浮動的である原因は、1ヵ月を1期とするか（月1期制、アメリカでの例）、月初1日から15日までと、翌16日から月末までをそれぞれ1期とするか（月2期制、西独、フランスでの例）、月初1日から10日まで、11日から20日まで、21日から月末までをそれぞれ1期とするか（月3期制、日本での普通倉庫業での例）など、期制を変化させることに因り、保管役務生産量が変化することに在る。1例を昭和53年2月の普通倉庫業での貨物動向の数字を用いて示してみると、

昭和53年 1 月末在庫高	21,447千トン
同年 2 月分の入庫高	9,798 //
" 出庫高	10,136 //
同年 2 月末 在庫高	21,109 //

となっていたから、昭和53年 2 月分の保管役務生産量は（単位、千トン）、

月 1 期制	31,245	月 3 期制	73,801
月 2 期制	52,523	月 4 期制	95,079

（注、英本国では「週1期制」を採っているので、「月4期制」にほぼ近いものに

なる)

日本の普通倉庫業界では前記のとおり「月3期制」を採用しているから(昭和45年8月1日実施), 月間の保管役務生産量(T_3 と表示する)は, 下記のとおりに表示され, 算出される。

$$T_3 = (K_0 + a_1) + (K_1 + a_2) + (K_2 + a_3)$$

ただし, K_0 は前月末残高 (つまり月初1日の現在高)

K_1 はその月の10日現在の残高

K_2 はその月の20日現在の残高

a_1 は月初1日から10日までの入庫高

a_2 はその月の11日から20日までの入庫高

a_3 はその月の21日から月末までの入庫高

普通倉庫業者は保管役務生産量を外部に発表することがなく, 各月末残高, その月の入庫高, 同出庫高の3数字を発表するに留まるから, 既述の「倉庫統計月報」で公表される入庫高と月末現在高の二つの数字を基礎にして全国の役務量を算出するよりほかはない。本論で示す保管料推計は下記の算式で算出した役務量に単位保管料率を乗じたもので, 若干の誤差を生ずるを免れないが, 現在のところその誤差率が極めて小さいので, 実用に十分に耐えるものと確信する。この算式の成立は昭和24年で, 株式会社住友倉庫の手に依っている。拙著『倉庫経営論』(第7次改訂版, 学文社刊, p. 223 ff) に詳述してあるので参照されたい。保管役務生産量および保管料が全国規模で算出されているのは日本のみであり, 業界が世界に誇示できるものである。

$$T_n = \frac{n}{2}(K_0 + K_e) + \frac{1}{2}(A + B) + E$$

ただし

T_n ……「月 n 期制」での月間保管役務生産量

K_0 ……月初在庫高 B ……月間出庫高

K_e ……月末在庫高 E ……誤 差

A ……月間入庫高

普通倉庫業での保管料計算では従価保管料と従量保管料との合算方式になっているにも拘らず, 「倉庫統計月報」では6月(June)分に限り金額表示をするので, 非常に不便を生じさせているが, この6月分の価格をそのまま採

普通倉庫業、「トン当り／1期」の保管料率試算（甲地区換算）

40 品 目	料率適用代表品目	価 値		従 量 率		従 価 率		合 算 料 率	
		トン当り		トン当り		千円当り		トン当り	
		(千円)		(円) A		(円) B		A+B (円)	
1 米	内国産米	148		154		0.52		77.0	231.0
2 麦	輸入小麦 (バラ)	30		151		0.52		15.6	166.6
3 雑 穀	メイズ・マイロ (バラ)	35		147		1.21		42.4	189.4
4 豆	その他豆類	134		199		1.78		238.5	437.5
5 畜 産 品	毛類	282		314		0.84		236.9	550.9
6 水 産 品	乾海苔	446		566		1.15		512.9	1,078.9
7 油脂作物	種子	83		220		1.15		95.5	315.5
8 葉たばこ	米国産黄種 (樽入)	226		117		0.50		113.0	339.0
9 其他農産品	農産物	349		215		1.15		401.4	616.4
10 鉄 鋼	鉄材	72		103		1.15		82.8	185.8
11 非鉄金属	地金	384		192		0.73		280.3	472.3
12 金属製品	その他金物製品	191		776		0.73		139.4	915.4
13 電気機械	家庭用電気器具	295		278		1.36		401.2	679.2
14 其他機械	その他機械	274		534		1.78		487.7	1,021.7
15 板ガラス・同製品	板ガラス	108		362		1.15		124.2	486.2
16 其他窯業品	雑品	78		383		2.93		228.5	611.5
17 石油製品	合成樹脂素材	58		414		1.15		66.7	480.7
18 化学薬品	その他薬品	194		257		1.36		263.8	520.8
19 化学肥料	化学肥料	35		105		1.57		55.0	160.0
20 染・顔・塗料	その他染塗料	346		444		1.36		470.6	914.6

品目	料率適用代表品目	価 格		従 量 率	従 価 率		合 算 料 率
		トン当り	(千円)		千円当り	トン当り	
				(円) A	(円) B	A+B (円)	1期/トン当り
21 合成樹脂	合成樹脂素材	173		414	1.15	199.0	613.0
22 其他化学工業品	其他薬品	204		257	1.36	277.4	534.4
23 紙及びパルプ	其他紙	128		330	1.15	147.2	477.2
24 化学繊維糸	糸 (包装品)	192		288	0.84	161.3	449.3
25 其他糸	〃	571		288	0.84	479.6	767.6
26 化学繊維織物	織物 (バラ)	408		645	0.84	342.7	987.7
27 其他織物	〃	485		645	0.84	407.4	1,052.4
28 缶詰・瓶詰	缶詰	229		230	1.36	311.4	541.4
29 砂糖	精糖	194		252	1.15	223.1	475.1
30 飲料	ビール5：その他5	178		197	1.47	261.7	458.7
31 其他食料工業品	其他食料品	205		210	1.78	364.9	574.9
32 織物製品	織物製品 (包装品)	439		367	0.84	368.8	735.8
33 其他日用品	雑品	177		383	2.93	518.6	901.6
34 ゴム製品	ゴム製品	186		309	1.89	351.5	660.5
35 其他製造工業品	雑品	296		383	2.93	867.3	1,250.3
36 天然ゴム	生ゴム	248		401	1.15	285.2	686.2
37 木材	木材 (水面)	214		215	0.73	156.2	371.2
38 非金属鉱物	其他鉱産物	61		267	1.15	70.2	337.2
39 動物性肥飼料	ミール	66		315	1.21	79.9	294.9
40 雑品	雑品	275		383	2.93	805.8	1,188.8

(注) 平均トン/期料率は505円となっている。

用して単位保管料，つまり「トン当り／1期」の保管料を試算すると，別表のとおりになる。料率適用に用いた代表品目の選択には筆者の恣意を加えざるをえないこと，そして料率は昭和53年現在のもの，またトン当り貨物価格は昭和53年6月分の入庫高に基づいたことを明記しておきたい。

冷蔵倉庫業では保管温度により庫腹を下記のとおりに区分しているが，保管料算出に当ってはF級で代表させてみた。月2期制を採用している。レンタルによる収入は，厳密には保管料と言えないのであるが，これも加算しておく。

(庫腹区分)

F級 マイナス20度C以下

C1級 マイナス10度C以下，マイナス20度C未満

C2級 マイナス2度C以下，マイナス10度C未満

C3級 プラス10度C以下，マイナス2度C未満

冷蔵倉庫業と普通倉庫業との区切りは，機械的に摂氏 (Celsius) 10度以下の温度を作り出し得るか否かによっている。

F級室では，保管料率は10kgにつき1期が22円であり，昭和51年5月1日実施となっている。

昭和52年末在庫高	1,663.6 千トン	(1)
昭和53年末在庫高	1,768.9 "	(2)
昭和53年間入庫高	8,335.4 "	(3)
昭和53年間出庫高	8,230.1 "	(4)
昭和53年間月末在庫高累計	20,232.7 "	(5)
昭和53年の保管役務生産量	T_2	

$$T_2 = [(5) \times 2 - (2) + (1)] + \frac{1}{2} [(3) + (4)]$$

$$= 40,360.1 + 8,282.8$$

$$= 48,642.9 \text{ 千トン} \cdot \text{期}$$

従って推計保管料は，22円×48,642.9千トンとなり，1,070億円となる。

レンタル料は，「1カ月，1立方メートル，F級室で1,000円」として計算されているから，賃貸延容積 (11,870.4千立方メートル) から計算して119億円となる。これを1,070億円に加算すると，1,188億円となる。

また水面木材倉庫業では、地域により料率を異にしているので、東京料率で概算すれば、1ヵ月1期制を採っているので、

昭和52年末在庫高	1,771.3 千立方米	(a)
昭和53年末在庫高	1,737.1	(b)
昭和53年入庫高	9,641.0	(c)
昭和53年出庫高	9,675.2	(d)
昭和53年月末在庫高累計	20,687.7	(e)
昭和53年保管役務生産量	T_1	

$$T_1 = \frac{1}{2}(2e + a - c) + \frac{1}{2}(c + d)$$

$$= 28,403 \text{ 千立方米}$$

上記の役務生産量に1期基準率として筏繋留1立方米当りの88円を乗ずれば、25億円がえられる。

3 保管経費率

一般に「物的流通」と呼ばれている物資流動論において示されている保管経費率なるものは、どの程度の範囲で算出を行なったものであるかが全く説明されていないので、貨物の種類が最も多いと言える普通倉庫業界の貨物統計を基として、「保管料推計高÷年間出庫高(金額表示)」の方法で保管経費率を求めることができる。推計高は貨物在庫期間を要素として採択しているから、景気変動を考慮に入れたものとなる(次頁表参照)。

冷蔵倉庫業での保管経費率は、「倉庫統計月報」では金額表示がないので、これを求める方法がない。

水面木材倉庫業での保管経費率は、入庫ベースでの1立方米当り価額(昭和53年6月分)が214千円となるので、出庫高の金額表示は(214千円×9,675.2千立方米)20,705億円となる。したがって所要の経費率は0.13%となる。

4 添付諸表の説明

添付諸表は、次記の内容を有している。

(A) 普通倉庫業関係

第1表 地域別貨物動向

普通倉庫業での保管経費率表

品 目	経費率%	品 目	経費率%
1 農 水 産 物	3.32	6 紙 及 び パ ル プ	2.24
1 米	3.88	23 紙 及 び パ ル プ	2.24
2 麦	5.50		
3 雑 穀	2.45	7 繊 維 工 業 品	1.65
4 豆	1.27	24 化 学 繊 維 糸	1.43
5 畜 産 品	7.69	25 其 他 糸	1.07
6 水 産 品	1.78	26 化 学 繊 維 織 物	1.99
7 油 脂 用 作 物	1.66	27 其 他 織 物	1.82
8 葉 た ば こ	6.93		
9 其 他 農 産 品	1.39	8 食 料 工 業 品	1.50
		28 缶 詰 ・ 瓶 詰	1.81
2 金 属 原 料	0.97	29 砂 糖	1.56
10 鉄 鋼	1.12	30 飲 料	1.21
11 非 鉄 金 属	0.67	31 其 他 食 料 工 業 品	1.50
3 金 属 製 品 機 械	1.68	9 雑 工 業 品	2.46
12 金 属 製 品	3.19	32 織 物 製 品	1.45
13 電 気 機 械	1.34	33 其 他 日 用 品	3.70
14 其 他 機 械	2.03	34 ゴ ム 製 品	1.87
		35 其 他 製 造 工 業 品	3.18
4 窯 業 品	4.18		
15 板ガラス・同製品	3.92	10 雑 品	3.22
16 其 他 窯 業 品	4.64	36 天 然 ゴ ム	2.45
		37 木 材	4.78
5 其 他 化 学 工 業 品	1.94	38 非 金 属 鉱 物	4.69
17 石 油 製 品	3.22	39 動 植 物 性 肥 飼 料	3.10
18 化 学 薬 品	1.35	40 雑 品	3.22
19 化 学 肥 料	3.68		
20 染 ・ 顔 ・ 塗 料	1.50		
21 合 成 樹 脂	2.23		
22 其 他 化 学 工 業 品	1.43	平 均	2.04

第2表 月別貨物および庫腹 (Space) 動向

第3表 品目別貨物動向

第4表 品目別保管料推計高

第5表 品目別入出庫荷役料推計高

(B) 冷蔵倉庫業関係

第6表 地域別貨物動向

第7表 月別貨物および庫腹 (Space) 動向

第8表 品目別貨物動向

(C) 水面木材倉庫業関係

第9表 地域別貨物動向

第10表 月別貨物および庫腹 (Space) 動向

第11表 品目別貨物動向

上記の諸表の数字は、運輸省港湾局倉庫課が編集し、社団法人日本倉庫協会を通じて頒布している「倉庫統計月報」の昭和52年12月号と昭和53年1～12月号に基づいて作成したものである。ただし、「地域別」の数字は日本倉庫協会調査部の好意により入手した都道府県別のものを8地域に筆者が集約し、かつ保管役務生産量を付記したものである。「月報」は運輸省の予算執行の都合で毎年6カ月遅れとなっている。

第1表 普通倉庫業地域別貨物動向

普通倉庫業での保管役務量は、交通業での「トン・キロ表示」に相当するが、既述のとおり業者の自社分は公開するところがないので、独り業界のみならず、一般でもその存在は知られていない有様である。

本表で明らかなように、普通倉庫業界の役務の77%が関東（東京・神奈川が主力）、中部（愛知・三重が主力）、近畿（大阪・兵庫が主力）の3地域で生産されている。つまり東京都・横浜・名古屋・四日市・大阪・神戸の6都市が主力になっているわけである。したがって、保管料推計に当り甲地区換算にしても、他地域の占める力が小さいから、全体的には大した誤差は生じないといえる（ $77\% + 23\% \times 92\% = 98\%$ ）。

第2表 普通倉庫業月別貨物および庫腹 (Space) 動向

普通倉庫業界の業者数（本社数）は、各年度末（3月末）で下記のとおり増加の一途を辿っている。

昭和 45 年	1,708社	昭和 50 年	2,228社
46	1,856	51	2,374
47	1,974	52	2,424
48	2,095	53	2,466
49	2,164		

貨物動向の部分が業界での業況判断の材料となっているわけであるが、その判断の方法には大きい欠陥のあることが看過されていることに、全く気付かれていない。一般に貨物の入出庫高と月末在庫高を組み合わせた「回転率」で業況が云々されているが、経済活動を行なっているのであるから、保管役務量（運送業でいう「トン・キロ」）での表示があって然るべきである。つまり単価が「1 トン・期」建てになっているにも拘わらず、この単価を掛ける数字は一向に注目されていない。「月3期制」での計算で、回転率での1ポイントの変化が、在庫月数または在庫期数で同じ量、つまり時間であれば、回転率を重要視することに意味もあるだろうが、これを細かに調べてみると、意外にも1ポイントの動きの内容となる時間が非常に異なることが知りえられるのである。参考までに若干の実例を掲げてみる。

回転率	在庫月数	在庫期数	回転率	在庫月数	在庫期数
100%	1.00ヵ月	3.90期	45%	2.22ヵ月	7.56期
95	1.05	4.05	40	2.50	8.40
90	1.11	4.23	35	2.86	9.48
85	1.18	4.44	30	3.33	10.89
80	1.25	4.65	25	4.00	12.90
75	1.33	4.89	20	5.00	15.90
70	1.43	5.19	15	6.67	20.91
65	1.54	5.52	10	10.00	30.90
60	1.67	5.91	5	20.00	60.90
55	1.82	6.36	3	33.33	100.89
50	2.00	6.90	1	100.00	300.90

回転率が70%から50%までの状況が続いて来ているので、大した注意が払われていないだけのことである。

第3表 普通倉庫業品目別貨物動向

「国内貨物輸送量は（昭和）五十二年度に5年ぶりに増勢に転じたが、こ

の中で特に目立つのがトラック輸送量の増加である。……国内輸送についてみると、トン数でみて大体90%の貨物をトラックが運んでいる。トンキロでいっても4割がトラックで、鉄道は1割だから、鉄道の4倍の実力をトラックは持っていることになります。……」(日本経済新聞, 昭和54・8・17, 東京版)。

第3表でみると、入庫高(1億3,359万トン)と出庫高(1億3,322万トン)との合計が約2億7千万トンになるから、この数字だけでみても国鉄輸送量(昭和52年度, 132,036千トン)を遙かに凌いでいる(昭和53年版, 運輸白書)。換言すれば、倉庫業とトラック輸送との関係が明らかになる。第3表を10大品目別にして再記すれば、つぎのとおりとなる(単位, 千トン)。

10大品目別	入庫高	出庫高	年間平均 在庫高
農水産物	25,407	24,444	5,938
金属原料	18,799	19,329	1,828
金物製品機械	18,845	18,765	2,516
窯業品	1,905	1,958	369
其他化学工業品	16,921	16,925	2,215
紙及びパルプ	9,449	9,431	1,311
繊維工業品	4,983	5,124	911
食料工業品	14,525	14,717	1,906
雑工業品	6,444	6,421	1,112
雑品	16,310	16,101	2,826
合計	133,589	133,215	20,914

第4表 普通倉庫業品目別保管料推計高(甲地区料率換算)

この第4表は「甲地区料率換算」に依って推計した保管料算出高である。普通倉庫業の保管料率と荷役料率とは行政上で全国を甲・乙・丙の3地区に分けられ、乙地区料率は甲地区の92%, 丙地区料率は乙地区の92%(つまり甲地区の84.64%)であることに定められているが、甲地区が占めるWeightが絶対的に大きいので、算出を甲地区料率で行なっても、推計高と実地との開きは大きくないものではないであろうと思料する。

本表では推計手法を明らかにするために、推計要素別に数字を掲げておいた。既述のとおり品目別の推計高を明らかにした数字は、国際倉庫協会連盟加盟国(20カ国)では日本のみが有する。

10大品目別に集約再記すれば、つぎのとおりである。

10 大品目別	推 計 高 (百万円)	百 分 比		
		昭和53年 %	昭和52年 %	昭和51年 %
1 農 水 産 物	58,728	13.1	12.4	12.0
2 金 属 原 料	18,468	4.1	5.5	5.6
3 金物製品機械	87,361	19.5	20.9	20.5
4 窯 業 品	7,767	1.7	1.8	1.8
5 其他化学工業品	49,123	11.0	12.2	12.3
6 紙及びパルプ	27,015	6.0	5.3	4.1
7 繊維工業品	30,530	6.8	8.8	10.3
8 食料工業品	44,494	10.0	10.2	9.8
9 雑工業品	41,097	9.2	8.5	8.8
10 雑 品	82,528	18.5	14.4	14.9
合 計	447,112	100.0	100.0	100.0

第4表の右端の経費率は、それぞれの品目の年間の保管料算出高を年間の出庫高で割った数字であることは、「 $C \div D$ 」で示したとおりであるが、これは各品目には当時の市況により変化する在庫期間を加味している点に特に注意しなければならない。財貨には固有の滞留時間のあることが、一般にいう「物的流通」を取り扱う上で軽視されている。工場から直接に消費者の手に移ることが理想であろうが、現在の経済活動ではこの理想は到底達成できるものではない。

参考までに40品目別に平均在庫月数を、次頁に掲げてみる。この数字は物流を論ずる人々に特に注意を求めたい。

第5表 普通倉庫業品目別入出庫荷役料推計高（甲地区換算）

普通倉庫業での荷役料（ニヤク / Cargo-handling）は、普通荷役料（入出庫料）と特殊荷役料（入出庫荷役以外の荷役料、つまり雑荷役料）とから成っているが、特殊荷役料の方はその作業種類のみならず荷役量もこれを見出す方法が全くない。経験的に普通荷役料収入の50%程度とされているので、普通荷役料を算出すれば、その50%増が普通・特殊両方の合計高となるものとされている。

従って、第5表により普通荷役料算出高が2,065億円であったので、荷役料総額はその50%増しの3,098億円であろうと推定でき、保管料(4,471億円)の69.3%に相当する。

外部者から見ると、非常に奇異に感ずるのであるが、この入出庫料と保管料とを切り離して倉庫役務需要者から徴求するのが、洋の東西を問わず業界の原則になっている。普通荷役は倉庫業者の利益において行なわれ、特殊荷

品 目 別	平 均 在 庫 月 数	品 目 別	平 均 在 庫 月 数
1 農 水 産 物	2.91	22 其他化学工業品	1.49
1 米	8.02		
2 麦	2.96	6 紙 及 び パ ル プ	1.69
3 雑 穀	1.19	23 紙 及 び パ ル プ	1.69
4 豆	1.47		
5 畜 産 品	0.98	7 織 維 工 業 品	2.13
6 水 産 品	2.11	24 化 学 織 維 糸	1.69
7 油 脂 用 作 物	1.12	25 其 他 糸	2.31
8 葉 た ば こ	15.08	26 化 学 織 維 織 物	2.41
9 其 他 農 産 品	2.28	27 其 他 織 物	2.46
2 金 属 原 料	1.13	8 食 料 工 業 品	1.55
10 鉄 鋼	1.10	28 缶 詰 ・ 瓶 詰	2.22
11 非 鉄 金 属	1.49	29 砂 糖	1.75
		30 飲 料	1.24
3 金属製品機械	1.61	31 其他食料工業品	1.45
12 金属製品	1.88		
13 電気機械	1.61	9 雑 工 業 品	2.08
14 其他機械	1.48	32 織 物 製 品	2.55
		33 其他日用品	2.09
4 窯 業 品	2.16	34 ゴ ム 製 品	1.42
15 板ガラス・同製品	2.55	35 其他製造工業品	2.17
16 其他窯業品	1.64		
		10 雑 品	2.11
5 其他化学工業品	1.57	36 天 然 ゴ ム	2.64
17 石 油 製 品	0.95	37 木 材	2.09
18 化 学 薬 品	1.35	38 非 金属 鉱 物	2.50
19 化 学 肥 料	2.35	39 動植物性肥飼料	1.97
20 染・顔・塗料	1.56	40 雑 品	2.07
21 合 成 樹 脂	1.77	平 均	1.88
		昭 和 52 年	1.98

役は寄託者の利益において行なわれるものであることを考慮に入れると、入出庫作業のための費用は当然に保管料の原価費目に入れるべきで、倉庫業での荷役料は「特殊荷役料」だけになるはずである。この点について、筆者はカナダ倉庫協会にこの旨を発表したことがあるが、同国の有力倉庫会社4社の社長たちから、筆者の考え方は正しくないと反論を受けた。この人たちは、事務費も別途に徴求しようとしていたのであった。

最近5カ年の普通倉庫業での入出庫トン数は、つぎのとおりになっている(単位、千トン)。

年 別	入 庫 量	出 庫 量	合 計
昭 和 49 年	125,795	121,142	246,937
50	110,331	111,666	221,997
51	124,840	123,400	248,240
52	131,460	131,428	262,887
53	133,589	133,215	266,804

第6・7・8表 冷蔵倉庫業関係

第9・10・11表 水面木材倉庫業関係

(790819)

第1表 普通倉庫業地域別貨物動向

(単位, 千トン)

地域別	昭和52年 年末在庫高	入 庫 高	出 庫 高	昭和53年 年末在庫高	保 管 役 務 量	
					生 産 量	百 分 比
北海道	1,052.5	5,189.6	5,048.0	1,194.1	44,038.4	4.97
東 北	649.4	4,709.2	4,696.4	662.2	27,372.0	3.09
関 東	6,793.4	45,029.5	44,562.7	7,260.2	291,218.2	32.87
中 部	4,420.3	26,741.5	26,782.5	4,379.3	182,457.8	20.59
近 畿	4,959.4	31,536.2	31,774.0	4,721.6	206,406.9	23.30
中 国	955.4	6,593.5	6,603.1	945.8	40,069.9	4.52
四 国	484.5	2,802.7	2,794.3	492.9	20,680.3	2.33
九 州	1,753.5	10,986.3	10,954.3	1,785.5	73,685.9	8.32
計	21,068.4	133,588.5	133,215.3	21,441.6	885,929.4	100.00

第2表 普通倉庫業月別貨物および庫腹 (Space) 動向

月 別	貨			物		所			倉			庫 (月末現在)	
	入庫高 千トン	出庫高 千トン	在庫高 千トン	月末現在高 千トン	1-3類 建物	危険		品	野	積	場	サ	イ 口
						建	屋						
前年末				21,068.4	18,825.7	千平方 米	千平方 米	千平方 米	千平方 米	千平方 米	千平方 米	千立方 米	
1	9,827.4	9,449.1		21,446.7	18,923.1		124.4	461.5	3,865.3		4,707.0		
2	9,797.8	10,135.6		21,108.9	18,940.5		130.0	460.7	3,739.2		4,795.4		
3	11,123.6	11,470.1		20,762.4	18,970.3		130.5	476.4	3,809.2		4,718.5		
小計	30,748.8	31,054.8		(21,106.0)	(18,944.5)	(128.3)	(466.2)	(3,804.6)			(4,740.3)		
4	10,654.2	11,002.0		20,414.6	19,052.9		130.6	476.4	3,794.2		4,723.5		
5	11,324.0	10,934.6		20,804.0	19,078.8		129.7	476.4	3,856.1		4,748.7		
6	11,136.0	11,351.2		20,588.8	19,061.8		130.4	476.4	3,869.3		4,736.9		
小計	33,114.2	33,287.8		(20,602.5)	(19,064.5)	(130.2)	(476.4)	(3,839.9)			(4,736.4)		

月 別	貨			物	所			管		倉		庫（月末現在）
	入庫高 千 ト ン	出庫高 千 ト ン	月末現在高 千 ト ン		1－3類 建 屋	危 険 品		野 積 場	サ イ 口			
						建	屋			タ ン ク		
											千 平 方 米	
7	11,461.6	11,513.2	20,537.2	19,096.7	131.1	477.0	3,913.1	4,776.4				
8	11,088.1	10,513.3	21,112.0	19,163.8	131.1	476.4	3,854.2	4,778.6				
9	11,088.0	11,462.1	20,737.9	19,187.2	132.8	482.4	3,849.4	4,827.5				
小 計	33,637.7	33,488.6	(20,795.7)	(19,149.2)	(131.7)	(478.6)	(3,872.2)	(4,794.2)				
10	11,806.9	11,599.9	20,944.9	19,230.6	132.7	482.4	3,849.7	4,868.4				
11	11,713.3	11,590.0	21,068.2	19,246.4	133.7	482.4	3,848.3	4,962.4				
12	12,567.6	12,194.2	21,441.6	19,293.9	133.5	522.7	3,754.0	5,019.3				
小 計	36,087.8	35,384.1	(21,151.6)	(19,257.0)	(133.3)	(495.8)	(3,817.3)	(4,950.0)				
年 計	133,588.5	133,215.3	(20,913.9)	(19,103.8)	(130.9)	(479.2)	(3,833.5)	(4,805.2)				
前 年	131,459.5	131,427.6	(21,668.0)	(18,578.0)	(123.4)	(458.4)	(3,839.6)	(4,528.9)				

第3表 普通倉庫業品目別貨物動向

(単位 千トン)

品目別	昭和52年 年末現在高	入庫高	出庫高	年末現在高	月末現在高	
					年間累計	年間平均
1. 農水産物	5,639.8	25,406.7	24,444.2	6,602.3	71,249.9	5,937.5
(1) 米	1,672.1	3,334.6	2,703.4	2,303.8	21,683.0	1,806.9
(2) 麦	1,887.1	7,325.3	7,491.8	1,720.6	22,189.5	1,849.1
(3) 雑穀	759.9	9,948.8	9,550.5	1,158.2	11,391.6	949.3
(4) 豆	201.6	1,895.4	1,806.8	290.2	2,662.0	221.8
(5) 畜産品	61.6	764.0	761.0	64.6	746.0	62.1
(6) 水産品	32.6	175.2	179.7	28.1	379.5	31.6
(7) 油脂用作物	20.9	267.4	269.8	18.5	302.7	25.2
(8) 葉たばこ	788.8	673.9	629.9	832.8	9,500.7	791.7
(9) 其他農産品	215.2	1,022.1	1,051.3	186.0	2,394.9	199.5
2. 金属原料	2,237.5	18,798.8	19,329.2	1,707.1	21,936.3	1,828.0
(1) 鉄	2,018.2	17,164.4	17,696.8	1,485.8	19,511.5	1,625.9
(2) 非鉄金属	219.3	1,634.4	1,632.4	221.3	2,424.8	202.0
3. 金属製品機械	2,396.6	18,845.4	18,765.1	2,476.9	30,191.7	2,515.9
(1) 金属製品	377.0	2,344.4	2,320.9	400.5	4,354.9	362.9
(2) 電気機械	1,372.3	11,453.3	11,346.2	1,479.4	18,284.6	1,523.7
(3) 其他機械	647.3	5,047.7	5,098.0	597.0	7,552.2	629.3

品 目 別	昭和52年 年末現在高	入 庫 高	出 庫 高	年末現在高	月 末 現 在 高	
					年間累計	年間平均
4. 窯 業 品	366.0	1,905.3	1,957.9	313.4	4,222.0	368.5
(1) 板ガラス・同製品	250.2	1,056.0	1,106.8	199.4	2,826.4	235.5
(2) 其他窯業品	115.8	849.3	851.1	114.0	1,395.6	116.3
5. 其他化学工業品	2,264.6	16,920.9	16,924.6	2,260.9	26,582.2	2,215.2
(1) 石油製品	193.2	2,106.6	2,163.6	136.2	2,063.0	171.9
(2) 化学薬品	330.6	2,846.5	2,836.6	340.5	3,830.0	319.1
(3) 化学肥料	372.7	1,824.1	1,830.0	366.8	4,302.3	358.5
(4) 染・顔・塗料	84.2	587.1	596.2	75.1	927.5	77.2
(5) 合成樹脂	695.3	4,827.8	4,733.5	789.6	8,367.6	697.3
(6) 其他化学工業品	588.6	4,728.8	4,764.7	552.7	7,091.8	590.9
6. 紙及びパルプ	1,300.1	9,449.4	9,431.0	1,318.5	15,733.3	1,311.1
7. 繊維工業品	1,021.6	4,982.9	5,124.3	880.2	10,927.6	910.6
(1) 化学纖維糸	347.9	1,859.9	1,945.1	262.7	3,290.6	274.2
(2) 其他糸	143.9	614.0	653.0	104.9	1,506.5	125.5
(3) 化学纖維織物	330.5	1,591.0	1,595.1	326.4	3,844.2	320.3
(4) 其他織物	199.3	918.0	931.1	186.2	2,286.3	190.5

品 目 別	昭和52年 年末現在高	入 庫 高	出 庫 高	年末現在高	月 末 現 在 高	
					年間累計	年間平均
8. 食料工業品	2,014.0	14,525.0	14,716.9	1,822.1	22,876.0	1,906.3
(1) 缶詰・瓶詰	456.4	2,422.6	2,417.9	461.1	5,364.4	447.0
(2) 砂糖	346.5	1,308.6	1,494.7	160.4	2,609.8	217.4
(3) 飲料	381.0	3,567.4	3,582.1	366.3	4,430.6	369.2
(4) 其他食料工業品	830.1	7,226.4	7,222.2	834.3	10,471.2	872.6
9. 雑工業品	1,033.3	6,443.8	6,420.9	1,056.2	13,339.7	1,111.6
(1) 織物製品	293.2	1,496.3	1,483.0	306.5	3,778.7	314.8
(2) 其他日用品	406.5	2,513.7	2,500.9	419.3	5,232.4	436.0
(3) ゴム製品	139.1	1,290.6	1,290.6	139.1	1,835.2	152.9
(4) 其他製造工業品	194.5	1,143.2	1,146.4	191.3	2,493.4	207.7
10. 雑品	2,794.9	16,310.3	16,101.2	3,004.0	33,908.5	2,825.7
(1) 天然ゴム	58.6	342.4	324.2	76.8	855.3	71.2
(2) 木材	770.2	3,481.6	3,645.3	606.5	7,605.0	633.7
(3) 非金屬鉱物	339.1	1,482.1	1,478.2	343.0	3,688.4	307.3
(4) 動植物性肥飼料	515.2	3,146.9	3,219.4	442.7	6,348.2	529.0
(5) 雑品	1,111.8	7,857.3	7,434.1	1,535.0	15,411.6	1,284.3
11. 合 計	21,068.4	133,588.5	133,215.3	21,441.6	250,967.2	20,913.9
昭和52年分		131,459.5	131,427.6	21,068.4	260,016.0	21,668.0

第4表 普通倉庫業品目別保管料推計高(甲地区料率換算)

品目別	保管役 生産量 A(千トン)	トン/期 り保管料 B(円)	料率適用代表品目	推計保管料 A×B C(百万円)	トン当り 単価 (千円)	出庫高 D(百万円)	流通経 費率% C÷D
1 農水産物	237,231.4	247.6		58,728	99	18,345	3.20
(1) 米	67,121.2	231.0	内国産米	15,505	148	4,001	3.88
(2) 麦	74,226.8	166.6	輸入小麦(バラ)	12,366	30	2,248	5.50
(3) 雑穀	43,327.0	189.4	メイズ・マイロ(バラ)	8,206	35	3,343	2.45
(4) 豆	9,704.2	437.5	其他豆類	4,246	134	2,421	1.27
(5) 畜産品	2,996.0	550.9	毛類	1,650	282	215	7.69
(6) 水産品	1,322.7	1,078.9	乾海苔	1,427	446	801	1.78
(7) 油脂用作物	1,180.3	315.5	種子	372	83	224	1.66
(8) 葉たばこ	29,088.0	339.0	米国黄種(樽入)	9,861	226	1,424	6.93
(9) 其他農産品	8,265.2	616.4	農産物	5,095	349	3,669	1.39
2 金属原料	85,668.5	215.5		18,468	88	19,010	0.97
(1) 鉄	76,763.7	185.8	鉄材	14,263	72	12,741	1.12
(2) 非鉄金属	8,904.8	472.3	地金	4,206	384	6,268	0.67
3 金属製品機械	109,259.9	799.6		87,361	253	51,873	1.68
(1) 金属製品	15,362.1	915.4	其他金物製品	14,062	191	4,433	3.19
(2) 電気機械	66,092.9	679.2	家電器具	44,890	295	33,471	1.34
(3) 其他機械	27,804.9	1,021.7	其他機械	28,408	274	13,969	2.03

品 目 別	保管役務 生産量 A (千トン)	トン/期当 り保管料 B (円)	料率適用代表品目	推計保管料 A × B C (百万円)	トン当り 単 価 (千円)	出 庫 高 D (百万円)	流通経 費率% C ÷ D
4 窯 業 品	14,676.5	529.2		7,767	94	1,859	4.18
(1) 板ガラス同製品	9,636.8	486.2	板ガラス	4,685	108	1,195	3.92
(2) 其他窯業品	5,039.7	611.5	雑品	3,082	78	664	4.64
5 其他化学工業品	96,674.9	508.1		49,123	168	25,310	1.94
(1) 石油製品	8,409.6	480.7	合成樹脂素材	4,042	58	1,255	3.22
(2) 化学薬品	14,316.7	520.8	其他薬品	7,456	194	5,503	1.35
(3) 化学肥料	14,742.8	160.0	化学肥料	2,359	35	641	3.68
(4) 染・顔・塗料	3,387.8	914.6	其他染・塗料	3,098	346	2,063	1.50
(5) 合成樹脂	29,742.0	613.0	合成樹脂素材	18,232	173	8,189	2.23
(6) 其他化学工業品	26,076.0	534.4	其他薬品	13,935	204	9,720	1.43
6 紙及びパルプ	56,612.5	477.2	其他紙	27,015	128	12,072	2.24
7 繊維工業品	38,048.5	508.1		30,530	385	18,487	1.65
(1) 化学繊維糸	11,902.1	449.3	糸(包装品)	5,348	192	3,735	1.43
(2) 其他糸	5,211.5	767.6	〃	4,000	571	3,729	1.07
(3) 化学繊維織物	13,131.8	987.7	織物(ババラ)	12,970	408	6,508	1.99
(4) 其他織物	7,803.1	1,052.4	〃	8,212	485	4,516	1.82

品 目 別	保管役務 生産量 A(千トン)	トン/期当 り保管料 B(円)	料率適用代表品目	推計保管料 A×B C(百万円)	トン当り 単価 (千円)	出 庫 高 D(百万円)	流通経 費率% C÷D
8 食料工業品	83,536.8	532.6		44,494	200	29,617	1.50
(1) 缶詰・瓶詰	18,506.4	541.4	缶詰	10,019	229	5,536	1.81
(2) 砂糖	9,510.2	475.1	精糖	4,518	194	2,900	1.56
(3) 飲料	16,888.6	458.7	ビール5：その他5	7,747	178	6,376	1.21
(4) 其他食料工業品	38,631.6	574.9	其他食料品	22,209	205	14,806	1.50
9 雑工業品	46,417.1	885.4		41,097	220	16,731	2.46
(1) 織物製品	12,805.8	735.8	織物製品(包装品)	9,423	439	6,510	1.45
(2) 其他日用品	18,185.3	901.6	雑品	16,396	177	4,427	3.70
(3) ゴム製品	6,796.2	660.5	ゴム製品	4,489	186	2,401	1.87
(4) 其他製造工業品	8,629.8	1,250.3	雑品	10,790	296	3,393	3.18
10 雑品	117,617.6	701.7		82,528	98	25,623	3.22
(1) 天然ゴム	2,871.9	686.2	生ゴム	1,971	248	804	2.45
(2) 木材	26,624.0	242.0	木材	6,443	37	1,349	4.78
(3) 非金属鉱物	12,539.5	337.2	其他鉱産物	4,228	61	902	4.69
(4) 動植物性肥飼料	22,336.5	294.9	ミール	6,587	66	2,125	3.10
(5) 雑品	53,245.7	1,188.8	雑品	63,298	275	20,444	3.10
11 合 計	885,743.7	504.8		447,112	154	218,926	2.04
昭和52年分	911,443.7	446.1		406,626	150	205,330	1.98

第5表 普通倉庫業品目別入出庫荷役料推計高（甲地区換算）

品 目 別	入出庫量	トン当 り料率	入出庫賃 推 定 額	料 率 適 用 代 表 品 目
	(千トン)	(円)	(千円)	
1. 農 水 産 物	49,850.9	1,298	64,722,903	
(1) 米	6,038.0	547	3,302,785	内国産（麻袋）
(2) 麦	14,817.1	1,578	23,381,383	輸入小麦（バラ）
(3) 雑 穀	19,499.3	1,578	30,769,895	メイズ・マイロ（バラ）
(4) 豆	3,702.2	1,063	3,935,439	豆類（バラ5：袋5）
(5) 畜 産 品	1,525.0	602	918,050	羊毛
(6) 水 産 品	354.9	614	217,909	水産物
(7) 油 脂 用 作 物	537.2	614	329,841	農産物
(8) 葉 た ば こ	1,303.8	456	594,533	米国黄種（樽入）
(9) 其 他 農 産 品	2,073.4	614	1,273,068	農水産物
2. 金 属 原 料	38,128.0	613	23,379,933	
(1) 鉄 鋼	34,861.2	603	21,021,303	鋼材（甲）
(2) 非 鉄 金 属	3,266.8	722	2,358,630	地金
3. 金属製品機械	37,610.5	623	23,433,434	
(1) 金 属 製 品	4,665.3	710	3,312,363	其他金物製品
(2) 電 気 機 械	22,799.5	551	12,562,524	家電
(3) 其 他 機 械	10,145.7	745	7,558,547	其他機械
4. 窯 業 品	3,863.2	790	3,050,288	
(1) 板ガラス・同製品	2,162.8	860	1,860,008	板ガラス
(2) 其 他 窯 業 品	1,700.4	700	1,190,280	雑品
5. 其他化学工業品	33,845.5	700	23,691,850	
(1) 石 油 製 品	4,270.2	700	2,989,140	化学品
(2) 化 学 薬 品	5,683.1	700	3,978,170	〃
(3) 化 学 肥 料	3,654.1	700	2,557,870	〃
(4) 染・顔・塗料	1,183.3	700	828,310	〃

品 目 別	入在庫量	トン当 り料率	入在庫貨 推 定 額	料 率 適 用 代 表 品 目
	(千トン)	(円)	(千円)	
(5) 合 成 樹 脂	9,561.3	700	6,692,910	化学品
(6) 其他化学工業品	9,493.5	700	6,645,450	〃
6. 紙及びパルプ	18,780.4	516	9,690,686	巻取紙
7. 繊維工業品	10,107.2	1,011	10,217,004	
(1) 化学繊維糸	3,805.0	700	2,663,500	繊維製品類
(2) 其 他 糸	1,267.0	700	886,900	〃
(3) 化学繊維織物	3,186.1	1,324	4,218,396	各種織物(バラ)
(4) 其 他 織 物	1,849.1	1,324	2,448,208	〃
8. 食料工業品	29,241.9	684	19,987,547	
(1) 缶 詰・瓶 詰	4,840.5	698	3,378,669	缶詰
(2) 砂 糖	2,803.3	547	1,533,405	砂糖(袋物)
(3) 飲 料	7,149.5	698	4,990,351	飲料
(4) 其他食料工業品	14,448.6	698	10,085,122	雑食料品
9. 雑 工 業 品	12,864.7	651	8,380,640	
(1) 織 物 製 品	2,979.3	700	2,085,510	繊維製品(包装)
(2) 其他日用品	5,014.6	700	3,510,220	雑品
(3) ゴ ム 製 品	2,581.2	458	1,182,190	タイヤ
(4) 其他製造工業品	2,289.6	700	1,602,720	雑品
10. 雑 品	32,411.5	614	19,911,666	
(1) 天 然 ゴ ム	666.6	774	517,482	生ゴム
(2) 木 材	7,126.9	484	3,449,420	原木(南洋)
(3) 非 金 属 鉱 物	2,960.3	594	1,758,418	鉱土石
(4) 動植物性肥飼料	6,366.3	547	3,482,366	ミール(袋)
(5) 雑 品	15,291.4	700	10,703,980	雑品
11 合 計	266,803.8	774	206,465,951	
昭和52年分	262,887.1	628	165,114,906	

第6表 冷蔵倉庫業地域別貨物動向

(単位, 千トン)

地 域 別	昭和52年 年末在庫高	入 庫 高	出 庫 高	昭和53年 年末在庫高
北 海 道	107.3	489.2	493.3	103.2
東 北	110.3	454.8	448.3	116.8
関 東	527.4	2,504.1	2,449.6	581.9
中 部	228.6	1,378.4	1,371.9	235.1
近 畿	393.9	1,858.5	1,841.4	411.0
中 国	89.4	455.0	454.5	89.9
四 国	51.5	374.0	366.0	59.5
九 州	(×) 155.2	821.4	805.1	171.5
合 計	1,663.6	8,335.4	8,230.1	1,768.9

(×)原資料では 155.5

第7表 冷蔵倉庫業月別貨物および庫腹 (Space) 動向

(F=Freezer, C=Cooler)

月別	貨物 (単位 千トン)			庫 腹 (単位 千立方米) (月末現在)			
	入庫高	出庫高	月末現在高	F, C ₁ C ₂ 級	C ₃ 級	合 計	レンタル用
前年末			1,663.6	10,192.7	1,071.8	11,264.5	799.8
1	532.1	556.2	1,639.5	10,389.5	998.7	11,388.2	779.6
2	593.2	577.8	1,654.9	10,339.4	1,073.4	11,412.8	814.2
3	633.9	662.1	1,626.7	10,338.7	1,084.9	11,423.6	870.8
小 計	1,759.2	1,796.1	(1,640.4)	(10,355.9)	(1,052.2)	(11,408.2)	(821.5)
4	698.5	648.7	1,676.5	10,580.9	1,095.9	11,676.8	1,074.5
5	670.0	682.6	1,663.9	10,630.0	1,098.2	11,728.2	1,128.1
6	670.5	669.5	1,664.9	10,636.2	1,103.2	11,739.4	1,144.1
小 計	2,039.0	2,000.8	(1,668.4)	(10,615.7)	(1,099.1)	(11,714.8)	(1,115.6)
7	687.1	707.6	1,644.4	10,758.7	1,116.0	11,874.7	1,086.4
8	740.6	738.3	1,646.7	10,834.8	1,112.6	11,947.4	1,011.4
9	739.3	709.4	1,676.6	10,860.0	1,118.5	11,978.5	970.2
小 計	2,167.0	2,155.3	(1,655.9)	(10,817.8)	(1,115.7)	(11,933.5)	(1,022.7)
10	789.1	719.8	1,745.9	10,893.3	1,121.5	12,014.8	979.8
11	799.8	721.9	1,823.8	10,951.5	1,128.8	12,080.3	1,018.6
12	781.3	836.2	1,768.9	11,039.4	1,138.1	12,177.5	996.0
小 計	2,370.2	2,277.9	(1,779.5)	(10,961.4)	(1,129.5)	(12,090.9)	(997.1)
年 計	8,335.4	8,230.1	(1,686.1)	(10,687.7)	(1,099.1)	(11,786.9)	(989.2)
前 年	8,238.7	7,987.2	(1,509.1)	(10,093.1)	(1,061.2)	(11,132.2)	(916.1)

第8表 冷蔵倉庫業品目別貨物動向

(単位, 千トン)

品 目 別	入 庫 高	出 庫 高	年末現在高	(注) 入 庫 高	
				昭和52年	昭和51年
生 鮮 水 産 物	191.2	200.0	12.4	221.5	281.8
冷 凍 水 産 物	3,678.0	3,645.3	958.2	3,748.0	3,465.7
塩 干 水 産 物	567.1	574.2	106.5	575.4	544.3
水 産 加 工 品	250.5	247.8	40.6	249.8	257.8
畜 産 物	1,333.0	1,310.0	266.7	1,216.4	1,181.1
畜 産 加 工 品	791.1	774.0	82.1	732.1	667.1
農 産 物	553.8	523.7	156.9	531.3	445.9
農 産 加 工 品	242.2	230.9	58.6	271.9	190.6
冷 凍 食 品	608.9	608.0	70.1	574.6	534.9
そ の 他	119.6	116.2	16.8	117.7	100.5
合 計	8,335.4	8,230.1	1,768.9	8,238.7	7,671.9

第9表 水面木材倉庫業地域別貨物動向

(単位, 千立方米)

地 域 別	昭 和 52 年 年末在庫高	入 庫 高	出 庫 高	昭 和 53 年 年末在庫高
北 海 道	26.6	368.8	360.4	35.0
北 東 北	32.1	488.0	479.0	41.1
関 東	617.2	2,732.4	2,779.1	570.5
中 部	674.9	3,279.4	3,254.0	700.3
近 畿	222.6	1,336.0	1,332.4	226.2
中 国	48.6	387.8	395.4	41.0
四 国	0	0	0	0
九 州	149.3	1,048.6	1,074.9	123.0
合 計	1,771.3	9,641.0	9,675.2	1,737.1

第10表 水面木材倉庫業月別貨物および庫腹 (Space) 動向

月 別	貨 物 (単位,千立方米)			所 管 水 面 (単位,千平方米)
	入 庫 高	出 庫 高	月末在庫高	
前年末			1,771.3	6,491.0
1	662.5	690.4	1,743.4	6,491.0
2	691.5	729.5	1,705.4	〃
3	861.3	886.5	1,680.2	〃
小 計	2,215.3	2,306.4	(1,709.7)	(6,491.0)
4	868.1	840.0	1,708.3	6,597.9
5	843.5	846.9	1,704.9	6,597.8
6	722.8	772.6	1,655.1	6,597.9
小 計	2,434.4	2,459.5	(1,689.4)	(6,597.9)
7	850.6	799.9	1,705.8	6,598.4
8	830.0	780.7	1,755.1	6,561.9
9	839.0	788.0	1,806.1	〃
小 計	2,519.6	2,368.6	(1,755.7)	(6,574.1)
10	825.5	906.8	1,724.8	6,561.9
11	830.8	794.1	1,761.5	6,561.8
12	815.4	839.8	1,737.1	〃
小 計	2,471.7	2,540.7	(1,744.5)	(6,561.8)
年 計	9,641.0	9,675.2	(1,724.0)	(6,556.2)
前 年	8,903.7	8,852.0	(1,628.4)	(6,421.6)

第11表 水面木材倉庫業品目別貨物動向

(単位, 千立方米)

品 目 別	入 庫 高	出 庫 高	年末在庫高	(注) 入 庫 高	
				昭和52年	昭和51年
国産針葉樹	—	—	—	—	—
国産広葉樹	3.1	4.0	0.2	6.1	5.9
北洋材	451.2	438.1	72.8	457.2	471.3
アラスカ材	—	—	—	—	—
米材角	99.9	115.3	7.2	82.5	112.5
〃丸太	2,258.8	2,261.3	394.3	2,064.9	2,206.7
〃板子	0.1	0.1	—	—	0.8
南洋材	6,824.5	6,853.2	1,262.1	6,285.0	6,115.5
台湾材	0.2	0.3	0.2	—	4.3
New Zealand材	3.2	2.9	0.3	8.0	11.0
その他の	—	—	—	—	—
合 計	9,641.0	9,675.2	1,737.1	8,903.7	8,928.0

(1979年9月13日受理)